

美術科シラバス

科目名	単位数	学年	対象
絵画	2	1	芸術教養コース

使用教科書・副教材	「高校美術1」 116-日文・美I-302 日本文教出版
指導目標	平面造形の基礎を理解し、美に対する感覚と創造的な能力を高める。

学期	月	週数	学習内容	学習のねらい	時間
1	4	1	色彩基礎	絵具の使い方や特徴、性質についての基礎的な知識を学習する。	4
		2			
		3			
	5	4	平面構成（幾何）	幾何形体を用いて、色と形を考えて画面を構成する。それぞれの図形の特徴や関係を良く考え、バランスの良い色調で画面を構成する。	6
		5			
		6			
	6	8	自画像を描く	自分の顔を題材にし、アクリルで自画像を描く。観察による対象の見方、感じ方、捉え方や表し方を学ぶ。アクリル絵の具の特徴や扱い方を知る。	12
		9			
		10			
	7	11			
		12			
		13			
	2	9	14	切り絵	切り絵の技法を理解し、植物画を制作する。切り取る部分と残す部分のバランスによる印象の違いを理解し、図案を工夫する。
15					
16					
17					
10		18	一版多色版画	さまざまな版の種類を学習し、多様な版画の表現方法を知る。一版多色版画の歴史や技法を学ぶ。彫刻刀の使い方、版木や用具の使い方について理解する。	12
		19			
		20			
11		21			
		22			
		23			
12	24				
	25				
	26				
	27				
3	1	28	風景画を描く	透視図の基本やを理解し、風景や建物などを描くときの視点の捉え方、また視点の置き方によっての印象の違いを理解し、構図に活かす。	10
		29			
		30			
		31			
	2	32	名画鑑賞	西洋美術、アジアの美術のそれぞれの歴史をまなび、時代背景、思想、表現形式の移り変わりを学習し、美術への関心をもつ。気に入った作品について調べ、レポートにまとめる。	8
		33			
		34			
	3	35	まとめ	作品の鑑賞、および教室整備	2
		36			

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心を持って意欲的に取り組むことができたか ・観察や表現を通して、作品の良さや美しさを感じ取ろうとしたか ・作品の良さや美しさを感じ取ったり味わったりしたか ・授業態度(意欲、関心：30%)＋作品、提出物(技能、表現、理解：70%)
-----------	--